

帳票様式(見本)

帳票番号	帳票名
1	全体的な計画
2	0歳児年間指導計画
3	1、2歳児年間指導計画
4	3～5歳児年間指導計画
5	0～2歳児月間指導計画
6	3～5歳児月間指導計画
7	0、1歳児保育日誌
8	2～5歳児保育日誌
9	0歳児連絡帳面
10	1歳児前半連絡帳面
11	1歳児後半連絡帳面
12	2歳児連絡帳面
13	園日誌
14	保育所児童保育要録

※7、8のA～Tは園児個人別の記録です。

※9～11は、年度の途中で9⇒10、10⇒11と様式を変化させて使用できると尚良いです。

※3～5歳児の連絡帳面は自由です。

教育理念		明倫の心を重んじ 育てよう 大野人		保育理念		一人一人の子どもを人として尊重し、様々な生活体験を通して「豊かな心」と「生きる力」を育む		幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿							
保育目標	養護	くつろいだ雰囲気の中で一人ひとりの様々な欲求を満たし、生命の保持及び情緒の安定を図る。				環境	周囲の様々な環境に好奇心や探求心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う。			<ul style="list-style-type: none"> 健康な心と体 自立心 協同性 道徳性・規範意識の芽生え 社会生活との関わり 思考力の芽生え 自然との関わり・生命尊重 数量や図形、標識や文字などへの関心、感覚 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現 					
	健康	健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う。				言葉	経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞くこととする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。								
	人間関係	他の人々と親しみ、支えあって生活するために、自立心を育て、人とかかわる力を養う。				表現	感じたことや考えたことなどを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。								
年齢	0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児				
年齢別ねらい															
内容	養護	生命の保持													
		情緒の安定													
	教育	健やかに伸び伸びと育つ			健康										
		身近な人と気持ち通じ合う			人間関係										
		身近なものとかわり感性が育つ			環境										
					言葉										
			表現												
食育の推進															
健康支援								地域との連携・交流							
環境及び衛生管理								小学校との連携							
事故防止及び安全管理								職員の資質向上							
子育て支援								自己評価							

園長	主任	担任

保育目標							○ 健やかに伸び伸びと育つ
							○ 身近な人と気持ちが通じ合う
ねらい							○ 身近なものに関わり感性が育つ
	月齢	5月7日～3ヶ月未満	3ヶ月～6ヶ月未満	6ヶ月～9ヶ月未満	9ヶ月～12ヶ月未満	1歳～1歳3ヶ月未満	1歳3ヶ月～2歳未満
養護	生命の保持						
	情緒の安定						
教育(遊び・生活)	健やかに伸び伸びと育つ						
	身近な人と気持ちが通じ合う						
	身近なものに関わり感性が育つ						
環境構成							
保護者支援							
一年間の保育に対する自己評価							

〇歳児（ ）組

年間指導計画

園長	主任	担任

保育目標	(幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿) ①健康な心と体 「安心感を持って自分から体を動かす」 ②自立心 「保育者に見守られながら、簡単な身の回りのことを自分でやってみる」 ③協同性 「保育者と一緒に友達とのやりとりを楽しむ」 ④道徳性・規範意識の芽生え 「いろいろな経験をしていく中で良いこと悪いことを知る」 ⑤社会生活との関わり 「身近な人や物に親しみ触れ合う中で、様々なものに興味や関心をもつ」 ⑥思考力の芽生え 「探索活動を通して、五感の働きを豊かにする」 ⑦自然との関わり・生命尊重 「身近な生き物や自然物に興味をもつ」 ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 「生活の中でいろいろな物に触れることで形や大きさなどの違いに気付く」 ⑨言葉による伝え合い 「生活や遊びの中でして欲しいことを簡単な言葉で伝える」 ⑩豊かな感性と表現 「保育者と一緒に身近な物に触れたり、感じたりして楽しむ」			
	ねらい			
期	一期 (4月~5月)	二期 (6月~8月)	三期 (9月~12月)	四期 (1月~3月)
養護	生命の保持			
	情緒の安定			
教育(遊び・生活)	(健康・人間関係・環境・言葉・表現)			
環境構成				
保護者支援				
一年間の保育に対する自己評価				
				※ 内容の『幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿』の番号は、その限りではない。

〇歳児 ()組

年間指導計画

園長	主任	担任

保育目標					(幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿) ① 健康な心と体 「やりたいことに向かって、体を動かす」 ② 自立心 「自分で出来ることは自分でし、自信を持つ」 ③ 協同性 「友達の真似や関わりを楽しむ」 ④ 道徳性、規範意識の芽生え 「生活や遊びに必要な決まりを守ろうとする」 ⑤ 社会生活との関わり 「地域のさまざまな人や物との関わりを楽しむ」 ⑥ 思考力の芽生え 「不思議に思ったことを試したり、工夫したりする」 ⑦ 自然との関わり・生命尊重 「身近な生き物や自然に触れ、生長や変化に関心を持つ」 ⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 「数や形、大きさを感覚的に捉える」 ⑨ 言葉による伝え合い 「自分の思いを言葉で伝えたり、相手の気持ちを聞いたりする」 ⑩ 豊かな感性と表現 「生活や身近な自然の中で感じたことや考えたことを表現する」
	ねらい				
	期	一期 (4月～5月)	二期 (6月～8月)	三期 (9月～12月)	四期 (1月～3月)
養護	生命の保持				
	情緒の安定				
内容	健康				
	人間関係				
	環境				
	言葉				
	表現				
環境構成					
保護者支援					
一年間の保育に対する自己評価					※ 内容の『幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿』の番号は、その限りではない。

歳児 月 指導計画

0.1.2 歳児用

園長	主任保育士	担任	記入者

ねらい	養護			
	教育			
家庭との連携		行事		
		内容	予想される活動	留意点
養護	生命の保持			
	情緒の安定			
生活・遊び	健康			
	人間関係			
	環境			
	言葉			
	表現			

歳児 月 指導計画

0.1.2 歳児用

	氏名	保育内容	留意点	反省・課題
個人別保育				
反省・評価				

歳児 月 指導計画

園長	主任	担任	記入者

(3.4.5 歳児用)

ねらい	養護			
	教育			
家庭・地域との連携		行事		
		内容	予想される活動	留意点
養護	生命の保持			
	情緒の安定			
教育	健康			
	人間関係			
	環境			
	言葉			
	表現			

歳児 月 指導計画

	氏名	保育内容	留意点	反省・課題
個人別保育				
反省・評価				

保 育 日 誌

令和5年4月1日(土)				園長		主任		記録者	
				天候		気温		午前 ○℃(○℃) 午後 ○℃(○℃)	
出席数	○	人	欠席児とその理由	○○、××・・・都合 ●●・・・鼻水 △△・・・咳 □□・・・自粛					
欠席数	○	人							
養 護				備 考					
環境構成			予想される子どもの活動			援助・留意点			
全体反省									
A									
B									
C									
D									
E									
F									

個人の記録

G	
H	
I	
J	
K	
L	
M	
N	
O	
P	
Q	
R	
S	

ここにテキストを入力

T	
---	--

保育日誌

令和5年4月1日(土)				園長		主任		記録者		
				天候		気温		(午睡時)		℃
出席数	○	人	欠席児とその理由	○○、××・・・都合 ●●・・・鼻水 △△・・・咳 □□・・・自粛						
欠席数	○	人								
養護				備考						
環境構成			予想される子どもの活動			援助・留意点				
全体反省										
	A									
	B									
	C									
	D									
	E									
	F									

個人の記録

G	
H	
I	
J	
K	
L	
M	
N	
O	
P	
Q	
R	
S	

T	
---	--

[家庭より]

健康状態	良・普通・不調	
	[症状]	
便	夜	有 回(硬・普・軟・下痢) 無
	朝	有 回(硬・普・軟・下痢) 無
睡眠	時 分 ~ 時 分	
登園前の 体温	℃	
食事及び量	ミルク	時 分 cc
	離乳食	[主に食べたもの] ・ ・ ・ ・食べない
[家庭での様子・連絡]		
(記録者) 父・母・祖父・祖母		

[保育園より]

健康状態	良・普通・不調	
	[症状]	
便	有 回(硬・普・軟・下痢) 無	
睡眠	時 分 ~ 時 分 時 分 ~ 時 分	
検温	午前おやつ時 °C	
	午後おやつ時 °C	
食事及び量	ミルク	時 分 cc
		時 分 cc
		時 分 cc
離乳食	[摂食状況] ・全部食べた ・大体食べた ・少し食べた ・食べない	
[保育園での様子・連絡]		
(記録者)		

[家庭より]

[保育園より]

健康状態	良・普通・不調		健康状態	良・普通・不調			
	[症状]			[症状]			
便	夜	有 無	回(硬・普・軟・下痢)	便	有 無	回(硬・普・軟・下痢)	
	朝	有 無	回(硬・普・軟・下痢)				
睡眠	時 分 ~ 時 分		睡眠	時 分 ~ 時 分 時 分 ~ 時 分			
登園前の体温		℃	おやつ	メニュー	体温		
				午前		℃	
			午後		℃		
食事及び量	ミルク	時 分	cc	食事及び量	ミルク	時 分	cc
	離乳食	[主に食べたもの]			離乳食	[摂食状況]	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・食べない 			<ul style="list-style-type: none"> ・全部食べた ・大体食べた ・少し食べた ・食べない 		
[家庭での様子・連絡]			[保育園での様子・連絡]				
(記録者) 父・母・祖父・祖母			(記録者)				

月 日 曜日 ステップ③

[家庭より]

健康状態	良・普通・不調	
	[症状]	
便	夜	有無 回(硬・普・軟・下痢)
	朝	有無 回(硬・普・軟・下痢)
睡眠	時 分 ~ 時 分	
登園前の 体温	℃	
朝食	[主に食べたもの]	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・食べない 	
[家庭での様子・連絡]		
(記録者) 父・母・祖父・祖母		

[保育園より]

健康状態	良・普通・不調	
	[症状]	
便	有 回(硬・普・軟・下痢)	
	無	
睡眠	時 分 ~ 時 分	
検温	体温	
	午前	℃
	午後	℃
食事 および 量	[摂食状況]	
	<ul style="list-style-type: none"> ・全部食べた ・大体食べた ・少し食べた ・食べない 	
[保育園での様子・連絡]		
(記録者)		

月 日 曜日 ステップ④

[家庭より]

健康状態	良・普通・不調	
	[症状]	
便	夜	有 回(硬・普・軟・下痢) 無
	朝	有 回(硬・普・軟・下痢) 無
睡眠	時 分 ~ 時 分	
登園前の 体温	℃	
朝食	[主に食べたもの]	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・食べない 	
[家庭での様子・連絡]		
(記録者) 父・母・祖父・祖母		

[保育園より]

健康状態	良・普通・不調	
	[症状]	
便	有 回(硬・普・軟・下痢) 無	
	無	
睡眠	時 分 ~ 時 分	
検温	℃	
食事 および 量	[摂食状況]	
	<ul style="list-style-type: none"> ・全部食べた ・大体食べた ・少し食べた ・食べない 	
[保育園での様子・連絡]		
(記録者)		

園 日 誌

園長		記録者	
----	--	-----	--

月 日 曜日		天候	出席・欠席状況						来訪者
			三歳未満児			三歳以上児			
出勤状況	出勤	人	クラス名	出席数	欠席数	クラス名	出席数	欠席数	発信
	週休								受信
	代休								受信
合計					合計				
休暇	出張		毎日の点検						
		防火関係	確認	安全		確認			
保育状況			1.非常口及び通路			1.園庭			
			2.火災報知器・誘導灯			2.屋外遊具・備品			
			3.消火器具			3.園舎			
			4.給湯器・ストーブ			4.屋内遊具・備品			
			5.電気関係			5.園の周囲			
			6.火気取扱い			6.その他			
備考			当番保育士			7.その他			
				特記事項					

(大野市様式)

保育所児童保育要録 (入所に関する記録)

児 童	ふりがな 氏 名		性 別	
		年 月 日生		
	現住所			
保 護 者	ふりがな 氏 名			
	現住所			
在籍記録		年 月 日 入 所		
		年 月 日		
		年 月 日		
		年 月 日 卒 所		
就学先				
保育所名 及び所在地				
施 設 長 氏 名				
担当保育士 氏 名				

保育所児童保育要録（保育に関する記録）

本資料は、就学に際して保育所と小学校（義務教育学校の前期課程及び特別支援学校の小学部を含む。）が子どもに関する情報を共有し、子どもの育ちを支えるための資料である。

ふりがな		保育の過程と子どもの育ちに関する事項	最終年度に至るまでの育ちに関する事項
氏名		(最終年度の重点)	
生年月日	年 月 日		
性別		(個人の重点)	
ねらい (発達を捉える視点)			
健康	明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。	(保育の展開と子どもの育ち)	
	自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。		
	健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しをもって行動する。		
人間関係	保育所の生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。		
	身近な人と親しみ、関わりを深め、工夫したり、協力したりして一緒に活動する楽しさを味わい、愛情や信頼感をもつ。		
	社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。		
環境	身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心をもつ。		
	身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。		
	身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。		
言葉	自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。		
	人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝合う喜びを味わう。		
	日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、言葉に対する感覚を豊かにし、保育士等や友達と心を通わせる。		
表現	いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。	特に配慮すべき事項	
	感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。		
	生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。		

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿について

<p>保育所保育指針第1章「総則」に示された「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、保育所保育指針第2章「保育の内容」に示されたねらい及び内容に基づいて、各保育所で、乳幼児期にふさわしい生活や遊びを積み重ねることにより、保育所保育において育みたい資質・能力が育まれている子どもの具体的な姿であり、特に小学校就学の始期に達する直前の年度の後半に見られるようになる姿である。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、とりわけ子どもの自発的な活動としての遊びを通して、一人一人の発達の特성에応じて、これらの姿が育っていくものであり、全ての子どもに同じように見られるものではないことに留意すること。</p>	
健康な心と体	保育所の生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。
自立心	身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならぬことを自覚し、自分の力でやるために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。
協同性	友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。
道徳性・規範意識の芽生え	友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。
社会生活との関わり	家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。また、保育所内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。
思考力の芽生え	身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。
自然との関わり・生命尊重	自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることを覚えるようになる。
数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。
言葉による伝え合い	保育士等や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。
豊かな感性と表現	心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。

保育所児童保育要録（保育に関する記録）の記入に当たっては、特に小学校における子どもの指導に生かされるよう、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を活用して子どもに育まれている資質・能力を捉え、指導の過程と育ちつつある姿をわかりやすく記入するように留意すること。

また、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が到達すべき目標ではないことに留意し、項目別に子どもの育ちつつある姿を記入するのではなく、全体的、総合的に捉えて記入すること。